

2025年12月期 決算説明会 参考データ集

2026年2月12日
株式会社INPEX（証券コード：1605）

地球の力で未来へ挑む
INPEX

子会社及び関連会社等

子会社 88社

主な子会社	国（地域）名	出資比率	フェーズ	決算期
INPEX JAPAN	日本	100%	生産中	12月
INPEX Ichthys Pty Ltd	オーストラリア	100%	生産中	12月
INPEX Oil & Gas Australia Pty Ltd	オーストラリア	100%	生産中	12月
ジャパン石油開発	アラブ首長国連邦	100%	生産中	12月
JODCO Onshore Limited	アラブ首長国連邦	65.76%	生産中	12月
JODCO Lower Zakum Limited	アラブ首長国連邦	100%	生産中	12月
INPEX Idemitsu Norge AS	ノルウェー	50.51%	生産中	12月
INPEXマセラ	インドネシア	64.28%	開発準備中	12月
INPEX南西カスピ海石油	アゼルバイジャン	51%	生産中	12月
INPEX北カスピ海石油	カザフスタン	51%	生産中	12月

関連会社等 30社

主な関連会社等	国（地域）名	出資比率	フェーズ	決算期
Ichthys LNG Pty Ltd	オーストラリア	67.82%	生産中	12月
MI Berau B.V.	インドネシア	44%	生産中	12月
首都圏CCS	日本	85%	調査設計中	12月
Potentia Energy Group Pty Ltd	オーストラリア	50%	操業中	12月

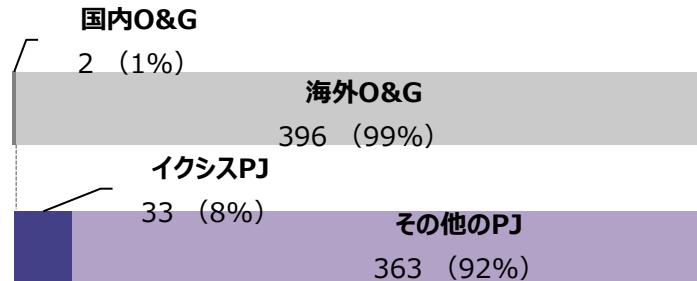
2025年12月期 セグメント情報

(百万円)	国内O&G	海外O&G		その他*	計	調整額	連結 財務諸表 計上額
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上収益	192,176	334,854	1,486,928	24,383	2,038,342	△26,990	2,011,351
セグメント利益又は損失（△）	22,452	270,801	131,790	△28,795	396,249	△2,412	393,836

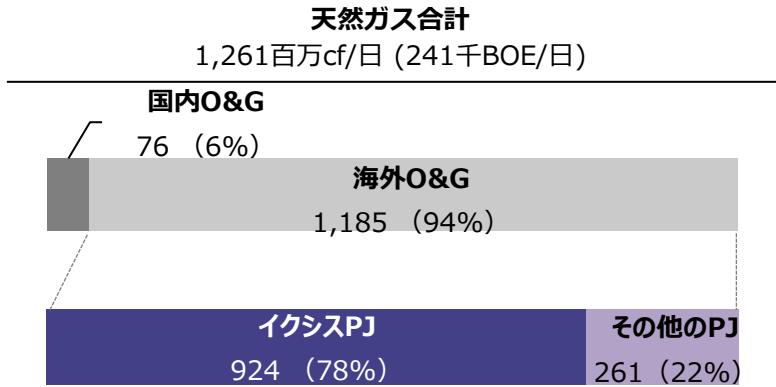
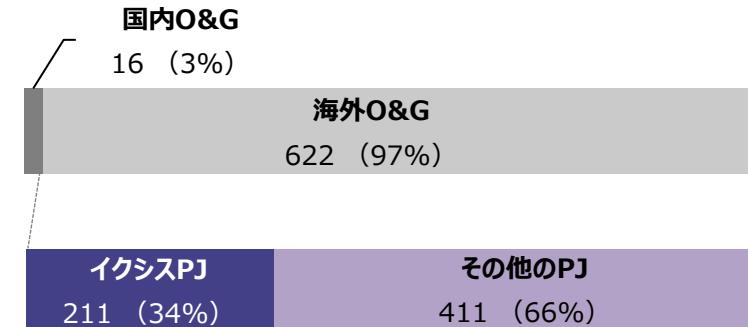
*「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、再生可能エネルギー・電力関連事業及びCCS・水素事業等を含んでおります。

2025年12月期 ネット生産量*

原油・コンデンセート・LPG
(398千BOE/日)



原油・天然ガス合計
(638千BOE/日)

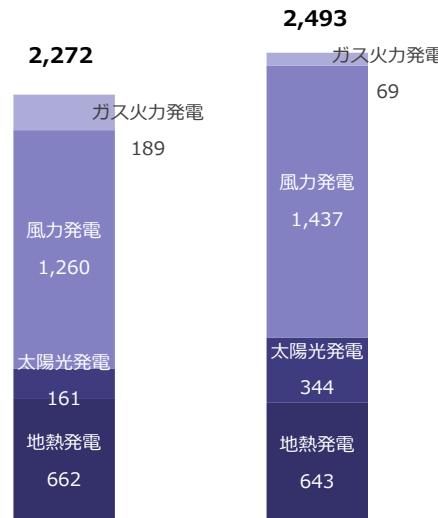


* 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示す。

持分発電量及び持分発電容量

持分発電量（電源別）

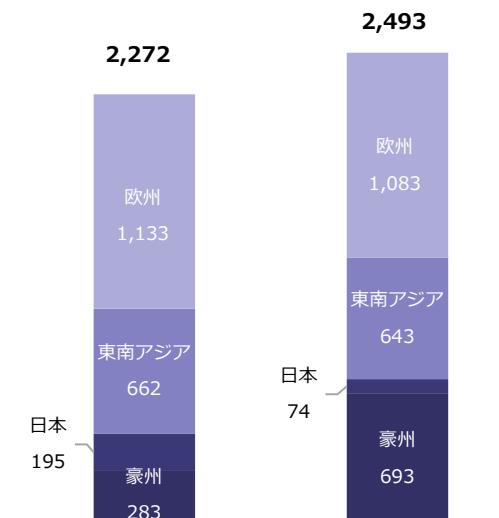
(単位：百万kWh)



2025年12月期

持分発電量*1（コアエリア別）

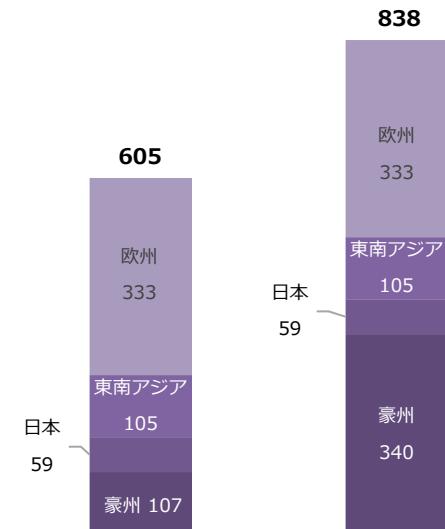
(単位：百万kWh)



2025年12月期

持分発電容量*2（コアエリア別）

(単位：MW)



2025年12月期

*1 日本はO&Gセグメント発電を含みます。

*2 稼働中のみ。

2026年12月期 販売量（期初予想）

	2025年12月期 (実績)	2026年12月期 (期初予想)	増減	増減率
販 売 量	原油 (千bbl) *1	144,673	144,032	△641 △0.4%
	天然ガス (百万cf) *2	446,818	482,675	35,857 8.0%
	うち海外分	366,659	405,004	38,346 10.5%
	うち国内分	80,159 (2,148百万m ³)	77,671 (2,081百万m ³)	△2,488 (△67百万m ³) △3.1%

*1 国内原油及び石油製品販売量の換算係数として1kl=6.29bblを使用

*2 国内天然ガス販売量の換算係数として1m³=37.32cfを使用

気候変動対応目標と排出量実績

パリ協定目標¹を支持し、低炭素社会の実現に貢献すべく、以下の目標を定めます。

当社事業の低炭素化		社会の低炭素化への貢献	
2050 絶対量ネットゼロ (Scope 1+2) ²	2035 原単位60%低減 ³ (Scope 1+2) ²	バリューチェーン全ての ステークホルダーと協働し Scope3削減の 取組みを進めます	2035 820万トンCO2の 削減貢献を目指します

排出量実績		2023年	2024年	2025年 ^{*4}
		Scope1 (千トン-CO ₂ e)	6,864	6,833
	Scope2 (千トン-CO ₂ e)		56	45
	GHG原単位 (kg-CO ₂ e/boe)		28	28
	メタン排出原単位		0.05%	0.05%
				0.04%

- 世界全体の平均気温の上昇を2℃を十分に下回る水準に抑える目標レベル
- 当社権益分
- 2019年比の削減目標（現在の経済環境と合理的な予測を反映したものであり、技術進展、経済合理性、各国・地域の施策実現等の事業環境を前提としている）
- 2025年12月末時点での確認可能な排出量の暫定値

プロジェクトデータ

各プロジェクトの概要を含む詳細データは当社ウェブサイト[「プロジェクト一覧」](#)よりご確認ください。

コアエリア別主要プロジェクト（1/3）

鉱区名・プロジェクト名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) ^{*2}	LPG生産量 (万バレル) ^{*2}	天然ガス生産量 (百万立方フィート) ^{*2}	フェーズ
オーストラリア						
AC/P66他 ^{*1}	コンセッション	100	-	-	-	探鉱
WA-50-L及びWA-51-L（イクシス） ^{*1}	コンセッション	67.82	上流コンデンセート： 約4.9	-	上流ガス： 約1,362 ^{*3}	生産
ブレリュードFLNGプロジェクト	コンセッション	17.5				生産
ラベンスワース油田	コンセッション	28.5	約0.2	-	-	生産

鉱区名・プロジェクト名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) ^{*2}	LPG生産量 (万バレル) ^{*2}	天然ガス生産量 (百万立方フィート) ^{*2*3}	フェーズ
アラビア						
上部ザクム油田	コンセッション	12				生産
下部ザクム油田	コンセッション	10				生産
サター油田・ウムアダルク油田	コンセッション	40				生産
陸上鉱区	コンセッション	5				生産
Onshore Block 4	コンセッション	40				開発

^{*1} オペレータープロジェクト^{*2} プロジェクト100%ベース。2025年1-12月平均日産量^{*3} 井戸元の生産量ではなく下流事業体への販売に対応した数量（LNG・LPG・プラントコンデンセートの原料として上流から陸上プラントに送られるガス量）

鉱区名・プロジェクト名	国名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) *2	LPG生産量 (万バレル) *2	天然ガス生産量 (百万立方フィート) *2*3	フェーズ
東南アジア							
セブク鉱区（ルビーガス田）	インドネシア	PS	13.5	約0.0	-	約22	生産
ペラウ鉱区（タングーLNG）	インドネシア	PS	7.79% (ネット)	コンデンセート： 約0.7	-	約1,567	生産・開発
マセラ鉱区（アバディLNG）*1	インドネシア	PS	65	-	-	-	開発準備
05-1b / 05-1c鉱区 (サオバン・ダイグエット ガス田)	ベトナム	PS	36.92				生産・開発

*1 オペレータープロジェクト

*2 プロジェクト100%ベース。2025年1-12月平均日産量

*3 井戸元の生産量ではなく貿易への販売に対応した数量

コアエリア別主要プロジェクト（3/3）

鉱区名・プロジェクト名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) ^{*2}	LPG生産量 (万バレル) ^{*2}	天然ガス生産量 ^{*2}	フェーズ
日本						

南長岡ガス田ほか ^{*1}	コンセッション	-	原油・コンデンセート： 約0.2	-	約2.0百万m ³ /日 (約76百万立方フィート/日)	生産
------------------------	---------	---	---------------------	---	--	----

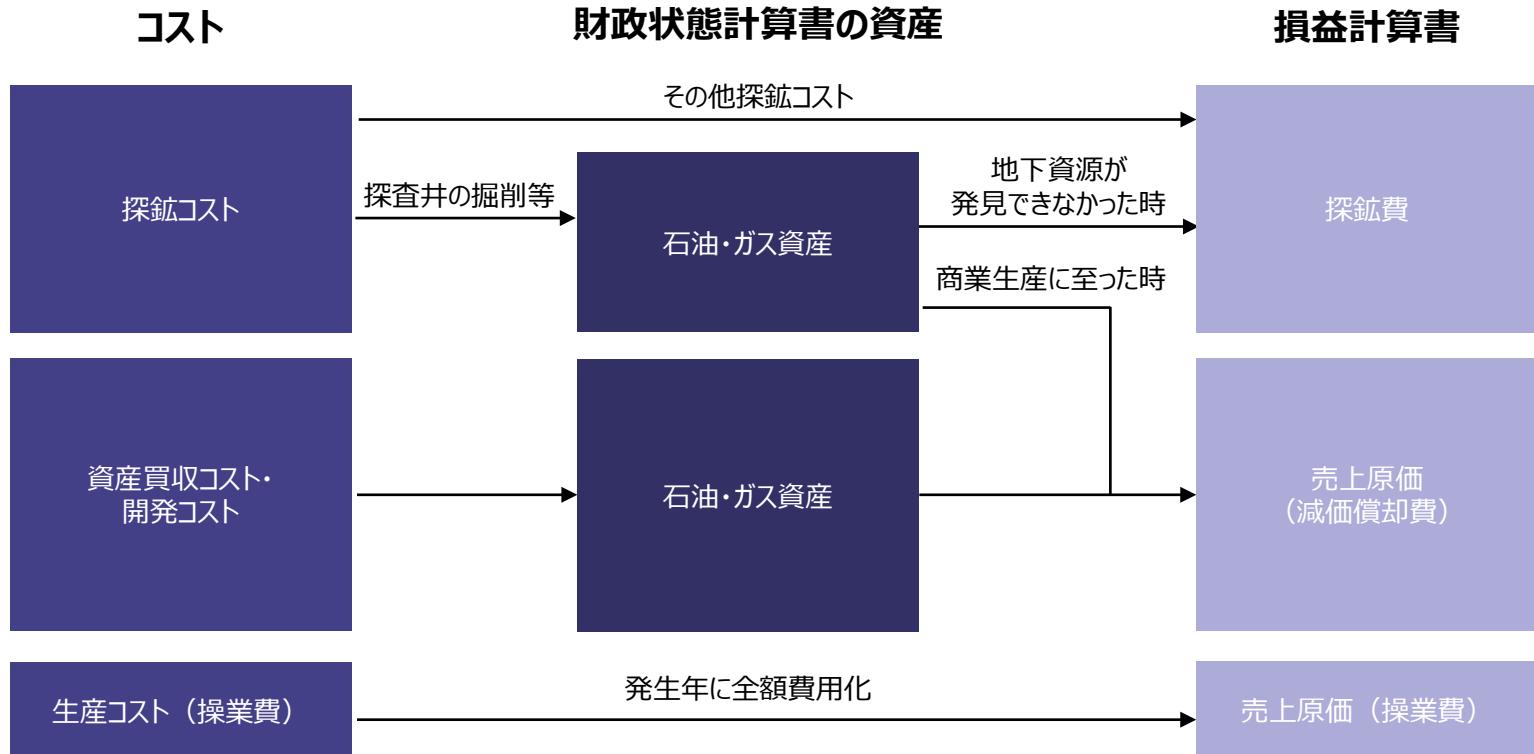
鉱区名・プロジェクト名	国名	契約形態	権益比率 (%)	原油生産量 (万バレル) ^{*2}	LPG生産量 (万バレル) ^{*2}	ガス生産量 (百万立方フィート) ^{*2*3}	フェーズ
欧州							

ACG油田	アゼルバイジャン	PS	9.3072	約33.0	-	-	生産
カシヤン油田	カザフスタン	PS	7.56				生産
スノーレ油田等	ノルウェー	コンセッション	3.3~30% (生産鉱区)	約14.6	-	約276 ^{*4}	生産・開発・探鉱

^{*1} オペレータープロジェクト^{*2} プロジェクト100%ベース。2025年1-12月平均日産量^{*3} 井戸元の生産量ではなく買主への販売に対応した数量^{*4} NGL (NATURAL GAS LIQUIDS) も含む

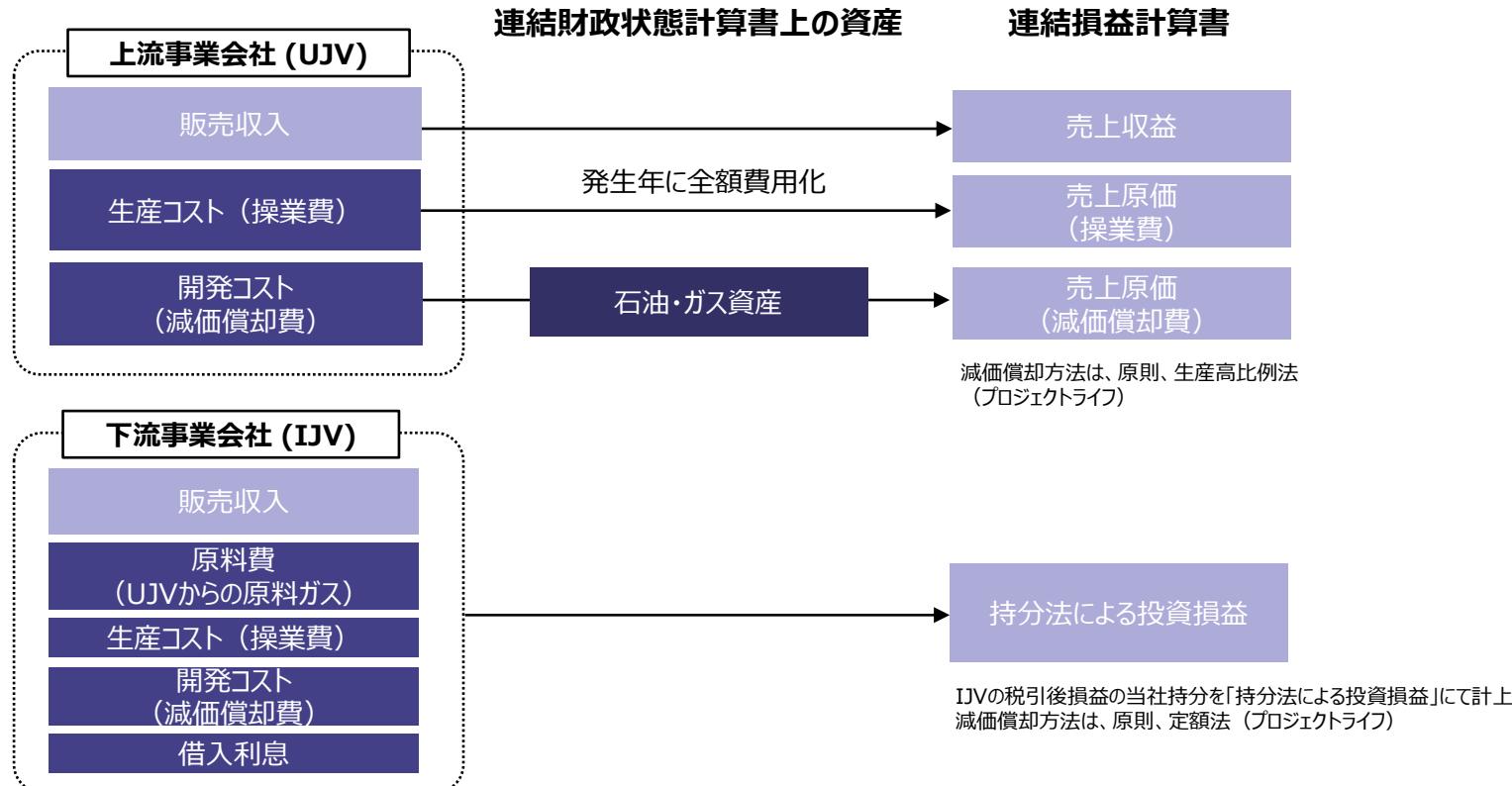
その他

IFRSにおける会計処理



イクシスLNGプロジェクトの事業スキーム





オーストラリア税制の概要

売上収益

⇒ (原油・天然ガス価格) × (生産販売量) ①

営業費用等

⇒ 当年発生のOPEX+ 採鉱費+ CAPEXの減価償却額 ②



法人所得税費用
(豪州税)

PRRT (Petroleum Resource Rent Tax)

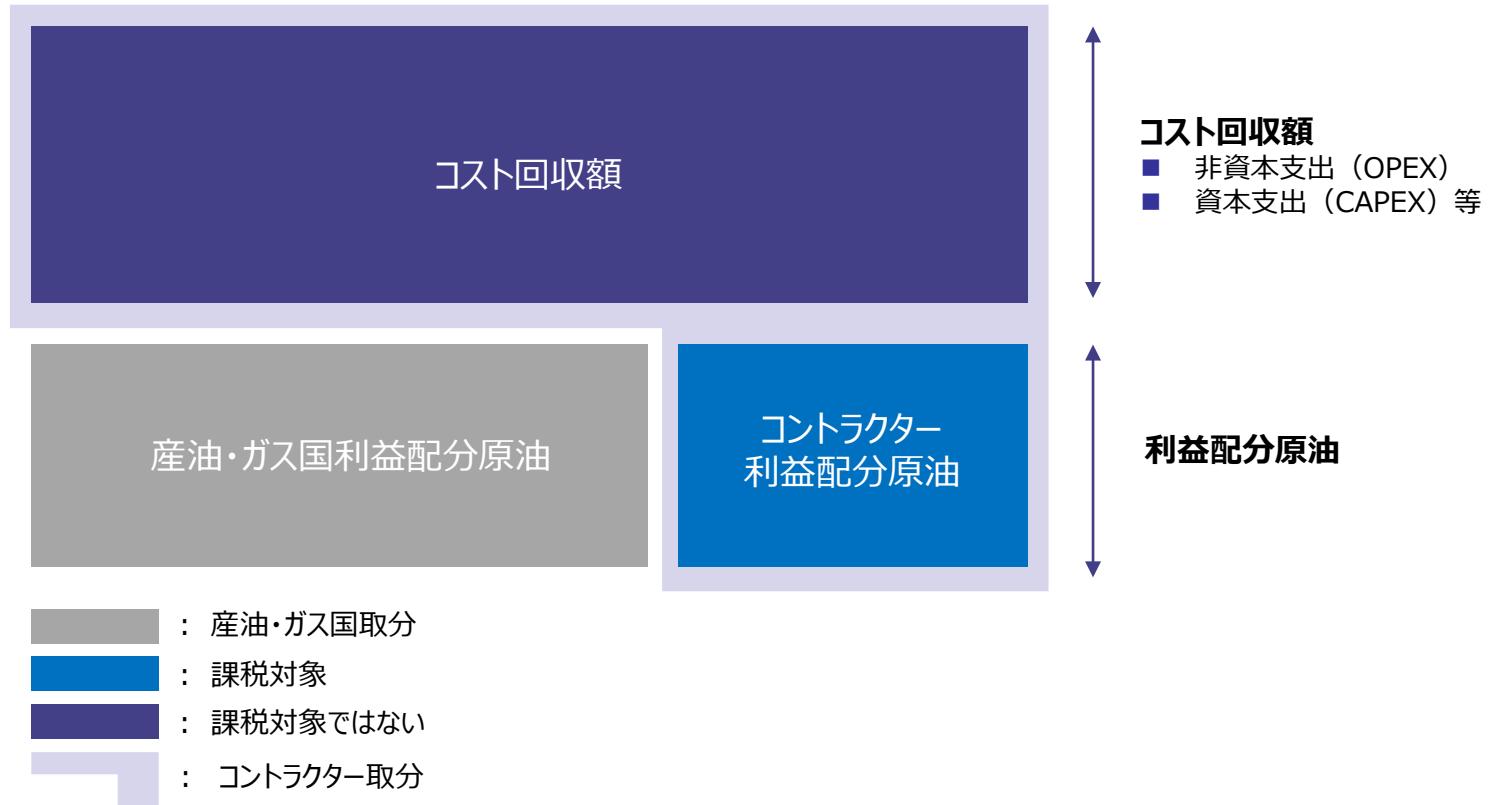
= (上流収益 – 上流CAPEX・OPEX支出額 – 採鉱費 – 廃鉱費 – PRRT繰越欠損金) × 40% ... ③

- CAPEX、OPEX、採鉱費、廃鉱費の順で上流収益より控除される。なお、採鉱費については、プロジェクト間及びグループ会社間での移転義務がある。
- PRRT繰越欠損金（上流収益 – 上流CAPEX・OPEX支出額 – 採鉱費 – 廃鉱費が赤字になる場合）については Long Term Bond Rate金利を加え次期以降に繰り越される。
- 廃鉱費の支出が発生した場合、当該廃鉱費×40%相当額について、過去に当該プロジェクトで支払ったPRRT税額を上限として、事業者に還付される。
- LNG等の一定条件を満たすPRRT対象プロジェクトについては、生産開始7年経過後より、控除可能損金を上流収益の90%までに制限し、上流収益の10%を課税所得とみなすdeductions cap制度が適用される。

オーストラリア法人税 = (① – ② – ③ – 支払利息) × 30%*

- オーストラリア法人税の法定税率と、当社のオーストラリア法人子会社の会計上の法人税等の負担率は異なる場合がある。また、会計上の法人税等の計上額がオーストラリア法人税の納付額と異なる場合もある。

生産分与契約（アバディLNG等に適用）



アバディLNG FEED

アバディLNGは2025年8月よりFEEDフェーズに移行。FPSOとOLNGについてはDual FEEDを実施し、競争力を担保。
EPC費用はFEEDを通じて算出するが、上流は手元資金、下流は外部借入にて調達予定。

FEED対象 ^{*1}	SURF (海底生産施設)	FPSO (洋上生産出荷施設)	GEP (FPSOからOLNGまでの海底パイプライン)	OLNG (天然ガス液化プラント)
上流/下流		上流		下流
FEEDコントラクター (究極親会社)	Worley (豪)	① Technip (仏)、日揮(日) ② Saipem (伊)、Tripatra (尼)、McDermott (米)	Worley (豪)	① 日揮 (日)、Technip (仏) ② KBR (米)、Samsung (韓)、PT Adhi Kara (尼)
EPCコントラクター	EPC業者入札で選定	上記①又は②から選定	EPC業者入札で選定	上記①又は②から選定
EPCファイナンス		手元資金 ^{*2}		外部借入(TBS ^{*3})

FEED費用 (FEED期間中の作業費・管理費等) : 4パッケージ合計で約10億ドル (プロジェクト100%ベース)

EPC費用 : 正確な費用はFEEDを通じて算出する

*1 CCSについては、4つのパッケージのいずれかが単独でFEED作業を行うのではなく、各パッケージがそれぞれ所掌するCCS関連施設のFEED作業を行う

*2 当社最終権益保有比率見込み約50%、かつEPC費用総額のうち50%(上流分)を手元資金でまかなう場合、アバディ開発準備資金として少なくとも6,000～8,000億円を積み立てる計画

*3 生産分与契約であるためProject Financeではなく、類似のTrustee Borrowing Scheme (TBS)を活用

目の前に立ちはだかる世界規模の課題。
私たちは地球の力でエネルギーを創る、
チームの力を結集する、経験と新しい発想で知恵を出し合う。
絶対に使命を投げ出したりしない。
私たちはエネルギーを探し、届け続ける。
今日も明日もこれからも、ずっと。

地球の力で未来へ挑む

INPEX

Energy for a brighter future